

↑beyond

Shopify

ECアプリ開発

目次

1. Shopifyとは？
2. Shopify外部アプリについて
3. Shopifyを使用した海外販売と外部アプリの必要性について
4. Shopifyストアの機能拡張

Shopifyとは？



Shopifyとは？

- ・ ECサイトの開発・運営をサポートしてくれるプラットフォーム
- ・ 2004年にカナダで創業
- ・ ECサイトの世界NO.1のシェアを誇る
- ・ WordPressのECサイト版のようなイメージ

Shopifyのプラン

	ベーシック	スタンダード (一番人気)	プレミアム	Shopifyプラス
月額課金	\$29/月	\$79/月	\$299/月	\$2000/月
手数料 (国内)	3.40%	3.30%	3.25%	3.15%
手数料 (海外)	3.90%	3.85%	3.80%	3.75%
取引手数料 (Shopifyペイメント)	無し	無し	無し	無し
スタッフアカウント	2	5	15	無制限
ローケーション	4	5	8	20

国内のネットショップとの比較（2020年6月30日時点）

	Shopify	BASE	STORES.jp
商品数	無制限	無制限	5アイテム (無料プラン) 無制限 (月額プラン)
サイトデザイン	100種類以上 (無料は10種類)	11種類	9種類
ブログ作成	○	○	×
かご落ち対策	○	×	×
多言語	50言語	英語	英語

Shopifyのメリット

1. ECサイト制作が簡単

- アカウントを作成して管理画面で設定を行うだけ

1. 海外言語対応

- 多言語を設定できる

1. 解析機能が豊富

- 「セッション数」や「CV率」「リピーター割合」など16の指標が確認できる

1. 決済サービスを用意しなくてよい

- 標準で様々な決済サービスが設定されている

1. 外部アプリ導入でサイトをカスタマイズ

- デザインやポップアップなどアプリを入れるだけで対応できる

Shopifyのデメリット

1. 日本語対応していないアプリが多い

- アプリの使い方等英語版がほとんど

1. 多くのアプリ追加に注意

- 多くが月額課金のためたくさんアプリを追加することは難しい

1. サポート体制がまだ不十分

- 日本語での電話サービスがない。日本語メールによる問い合わせは24時間365日対応している

Shopify外部アプリについて



Shopifyの外部アプリとは？

ネットショップをカスタマイズするためのツール。

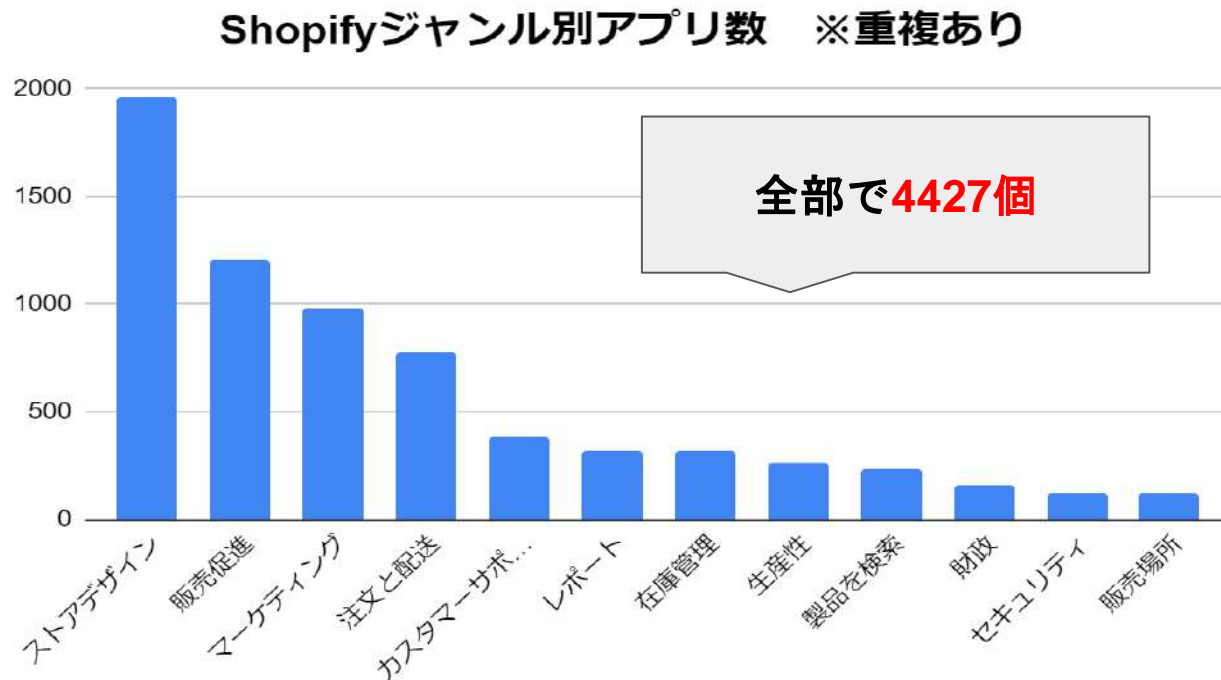
無料から有料のアプリがあり、Shopifyアプリ制作において欠かせないアイテムであり、4000個以上の外部アプリが存在している。(2020年6月30日時点)

現在は、「ストアデザイン」や「販売促進」を改善するための外部アプリが比較的多くリリースされている。

なぜアプリが必要か？

- 1. Shopifyの初期設定だけではECサイトの運営が不便**
 - ユーザーの要望に応えられる機能がShopifyに全て備わっていない
- 1. アプリを活用することでマーケティング戦略も可能。売上拡大に繋がる。**
 - 販売促進をサポートしてくれるアプリ機能が充実
- 1. 海外向け販売が実施しやすい**
 - 言語、通貨、配送などの障壁をアプリ導入で解決できる

Shopifyアプリ数 (2020年6月30日時点)



人気のジャンル

- ・ **Shopifyに備わっていない機能が多い「ストアデザイン」のアプリが人気**
 - 商品画像や動画の編集
 - ポップアップ通知
 - カートのカスタマイズなど

- ・ **利益拡大のための販売促進やマーケティングアプリも需要が高い**
 - 割引価格の表示
 - 製品レビューをよりユーザーが使いやすいようにする
 - 利益分析をより簡単にするアプリなど

ジャンル詳細（１）

ジャンル名	アプリの詳細
ストアデザイン	ポップアップ、カートのカスタマイズ、画像、動画
販売促進	商品レビュー、セールスポップアップ、割引価格
マーケティング	ロコミ、カートの放棄率、リピーター率
注文と配送	配送日時指定、ワンクリック注文
カスタマーサポート	CRM、チャット、返品、保障
レポート	製品、在庫、顧客に関するレポートを簡単に作成

ジャンル詳細（２）

ジャンル名	アプリの詳細
在庫管理	自動メール、アラート、バーコード
生産性	ショートカット機能、ワークフローの自動化
製品を検索	ドロップショッピング、オンデマンド印刷
財政	税金、利益計算
セキュリティ	アクセス制御、バックアップ
販売場所	オンライン市場、ソーシャルメディア

Shopifyを使用した海外販売 外部アプリの必要性について



海外販売をする上での障壁

①言語

②決済

③配送

④通貨

→Shopifyでどう解決できるか？

①言語

- ・ **Shopify上の管理画面で言語を設定できる**
(ユーザーはサイト下部のプルダウンで言語を切り替える)
- ・ **アクセス場所に対して自動で翻訳される機能はShopify上にないため
必要であればアプリのインストールを行う**

言語アプリの例

	名前	評価	月額	特徴	備考
言語	Langify	4.7	\$17.50/月。 (7日間無料)	管理画面はlangify独自の管理画面が用意されていて、元言語を見ながら編集できる	https://apps.shopify.com/langify?locale=ja
	Langshop	4.8	\$34/月。 (14日間無料)	言語ごとに通貨も設定できる	https://apps.shopify.com/langshop?locale=ja

②決済

- ・ほとんどの決済方法がShopify上に備わっている（アカウントの設定や有効化は別途行う必要あり）

<決済サービス一覧>

- **Shopify**ペイメント
- **KOMOJU**
- **PayPal**
- AmazonPay
- Apple Pay
- Google Pay
- コンビニ決済
- キャリア決済
- 代引き決済
- 銀行振込

決済サービス詳細（1）

	対応決済	対応ブランド	プラン別手数料			特徴
			ベーシック	スタンダード	プレミアム	
Shopify ペイメント	クレジットカード	VISA	3.40%	3.30%	3.25%	国内発行のみの手数料 (海外発行の場合はAMEXと同様)
		MASTERCARD				
		AMEX	3.90%	3.85%	3.80%	
	Apple Pay	上記に準ずる			-	
	Google Pay				-	
Shopify Pay	過去に利用経験があれば ログイン情報のみで決済可					

決済サービス詳細（2）

	対応ブランド	決済手数料	振込手数料	特徴・強み
KOMOJU	JCB Visa MasterCard Diners AMEX	3.6% (Visa、Master)	216円（入金金額が3万円未満のときの日本国内への振込手数料） 海外送金は2,500円	コンビニ支払いにも対応 Pay-easyやデジタルマネー決済にも使える
		3.85% (JCB、Diners、AMEX)		
PayPal	Visa MasterCard AMEX JCB 銀聯など	3.6% + 40円 (国内の標準レート：月額取引量で変動)	0円 (出金額5万円未満は250円/件)	越境ECに強い ネットショップ開設時点ですでに導入済

③配送

- ・ 配送料はShopify上で設定可能
 - ・ 越境ECで最も利用されている国際輸送手段は「日本郵便のEMS」
 - ・ 海外輸送する際に必要なラベル（送り状）やインボイス（税関の申告や審査で必要になる書類）の作成はShopify上にはない
- アプリを導入することで解決可能

配送アプリの例

	名前	評価	月額	特徴
配送	Easy Label Japan Post	4.5	ライト : \$14.90/月 ベーシック : \$39.90/月 プラス : \$69.90/月	Shopifyの管理画面で、配送方法の選択からラベルの作成、出荷情報の調整などを行うことができる。 日本郵便でもラベル作成ができる「国際郵便マイページサービス」を提供しているが、Shopify内で配送ラベル作成手続きを完了できる方が効率的。 「Easy Rates Japan Post」というアプリを併用することで、配送業務がより効率化される。
	Easy Rates Japan Post	5	\$9.90/月	日本から海外のお客様に出荷する際の日本郵便の利用可能な料金と方法を簡単に表示してくれる。送料を手動でストアに設定せず、インストールするだけで使用可能。
	ship & co	4.7	無料 ※外部料金がかかる	手間がかかる送り状とインボイスをワンクリックで発行でき、さらにShopifyからの注文がリアルタイムで同期

④通貨

- ・ Shopifyペイメントを使用すれば他通貨販売が可能

それ以外で通貨を自国に変えて決済するにはアプリの導入が必要

アプリ例「BEST Currency Converter」

- ・ 現地通貨に合わせて価格を表示できる。
- ・ 無料版では5つの通貨表示が使用可能で、有料版ではお客様の所在地に合わせて自動で通貨を変更する機能もついている。

まとめ（Shopify上で海外販売が可能か）

- ①言語→管理画面で手動設定ができる
 - ②決済→Shopify上にほぼ備わっている
 - ③配送→ラベル等の機能がないためアプリ推奨
 - ④通貨→Shopifyペイメントのみ他通貨対応のためアプリ推奨
- ◎海外販売にShopifyは最適なECサイト

Shopifyストアの機能拡張



外部アプリの種類

- ・ 公開アプリ

- 誰でも使える（無料から有料まで）
- 使用用途は多岐（デザインから管理画面拡張）

- ・ カスタムアプリ

- 特定のストア管理者のみ使用可

- ・ **プライベートアプリ**

- 管理画面（ストア）の機能を拡張する
- 非公開

プライベートアプリとは？

- ・ 管理画面（ストア）の機能を拡張するためのアプリ

【特徴】

- Shopifyのデフォルト機能だけでは足りない部分を補える
- 既存の公開アプリにはない独自の機能を追加できる
- ストア管理画面のLiquidファイルを編集してストア画面をカスタマイズ可能
- モバイルアプリやウェブサイトなどでShopifyストアの商品を提供できる

Shopify × ビヨンド

現在ビヨンドではShopifyのプライベートアプリ開発から運用のサポートを提供しています。



↑beyond